



# 千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043(222)7207 番

95.12.18 No. 4313

## ストライキ勝利の確信もかたく 幕張、津田沼で大会開催!

### 12/13 幕張支部 第18回大会

幕張支部第十八回定期大会が、千葉市民会館で開催された。

冒頭あいさつにたった石幡支部長は、七十二時間スト貫徹への確信も固く、「第一波ストから十年、振返ってみれば感慨深いものがある。十年目の今年、幕張支部は、二日間にわたるストライキを完全に勝利し、団結を固めてここにある。団結があれば、どんな困難ななかでも前に進むことができる。これからも団結を守りぬいていきたい。また、われわれの新しい仲間、勝浦・一宮、駅からの配転者を守り、頑張りたい。幕張は、職場全体が高齢化しており、平均年齢が四九歳、出向者問題など難しい課題もかかえているが、ひとりの解雇も許さない、というわれわれが守ってきた理念、労働運動の理念を守りきり、動労千葉の運動を大きく発展させたい」と提起。

続いて、来賓としてかけつけてくださった磯貝千葉市議が「労働組合がストをやらなくなっってしまったという状況のなかで、勝浦運転区の廃止問題、不当労働行為に対してストライキを貫徹した強い団結に感服している。労働組合の原点は、権利は何がなんでも守ってゆく、命をかけたも守るといふことだ。フランスでも、労働者がゼネストにたちあがっている。労働組合は闘わなくなったら労働組合ではな

### 【九五年度役員】

支部長	石幡佳和
副支部長	齊藤常一
書記長	小沢勇
執行委員	鈴木三男 高橋村三男 木村栄男
青年部長	岩井文夫 渡辺正勝
会計監査	須田孝夫 田英雄



くなる」熱っぽく訴えた。

質疑では、「指針の唱和」や職場抵抗闘争の問題、勝浦や営業からの転入者の問題、当局による組織介入・脱退者の問題、

### 12/14 津田沼支部 第20回大会

津田沼支部第二〇回定期大会は、一月四日、一七時三〇分より、船橋市・東部公民館において開催され、揺らぎはじめた「JR体制」打倒へ、九六年を全力で闘いぬく方針を確立した。

定期大会は、高澤書記長の開会のあいさつではじまり、まず十一月七日に亡くなった石渡英夫君に哀悼の意を表して黙祷を捧げた。

議長には相馬君を選出した後、荘司支部長は「JR体制が揺らぎはじめた中で勝浦運転区廃止攻撃がかけられた。しかし、ストライキを中心とした闘いで動労千葉の団結力が強まった。さらに団結して九六年を闘おう」と訴えた。また、勝浦運転区廃止により習志野運転区に配転された仲間からは「帰る家がなくなつたようで悔しい。今後は津田沼支部で頑張り」と決意が明らかにされた。

来賓の中野委員長から、国鉄情勢、政治情勢などが語られた後、経過報告、会計報告、運動方針、予算(案)が提起され、質疑討論が行なわれた。

役員には荘司支部長を先頭とする執行部を選出し、最後に団結カンパロー三唱を行い、大会は成功裡に終了した。

今後の店舗廃止問題等がだされ、活発な議論をおして、改めて原点に返り、職場からの闘いをつくりあげていくことが確認さ



### ◆一九九五年度役員体制◆

役職名	氏名	年
支部長	荘司 仁	35
副支部長	高梨 広之	38
書記長	高澤 成夫	35
執行委員	福島 勝之	37
"	相馬 正利	35
青年部長	結城 敏之	34
会計監査	内山 敏光	37
"	齊藤 守秀	34

れた。最後に、新年度の役員、運動方針を満場一致で決定し、大会は大成功のうちに終了した。